

平成27年度 市町老人クラブ連合会正副会長等研修会

2月15日（月）、とちぎ健康の森講堂において、県内各市町老連役員等約300名が一堂に会し、平成27年度市町老人クラブ連合会正副会長等研修会が開催されました。

県老連黒圖会長のあいさつに続き、事務局長から平成28年度県老連重点事業案が説明されたあと、栃木県経営管理部行政改革推進室長補佐の小野寺一行氏から「マイナンバー制度の概要等について」と題しての講演が行われました。

午後の部では、国土交通省気象庁宇都宮地方気象台気象情報官の伊藤準一氏と土砂災害気象官の石森啓之氏から「栃木県の気象特性と防災気象情報の利活用について」と題しての講演が行われました。

今回は、1月から運用された「マイナンバー」と昨年9月の大雨での災害など、身近なテーマを取り上げ、講師が用意した豊富な資料データと丁寧な説明により、有意義な研修会となりました。

